

平成28年度
東京理容専修学校
自己評価報告書

東京都理容生活衛生同業組合
東京理容専修学校

1 学校の教育理念等

(1) 設置目的（学則第1条）

専修学校並びに理容師養成施設として、生徒に理容師として必要な知識及び技能を習得させ、職業人としての正業を授けるとともに、都民の公衆衛生の維持増進に貢献することを目的とする。

(2) 教育理念

学校教育をとおして、青鷲のように粘り強く魅力ある社会人として、地域福祉にも貢献できる“人にやさしい奉仕の精神”を尊ぶ理容師を育成します。

(3) 教育目標

- ① 専門的知識及び技術を身につけさせるとともに、職業人として社会貢献できる理容師の育成を図ります。
- ② 心身ともに健全で、おたがいの人格や価値観を尊重する良識を備えた理容師の育成を図ります。
- ③ 社会人の一人として、社会福祉について理解を深め、奉仕の精神を尊ぶ人間としての成長を図ります。

2 平成28年度の目標、計画（概要）

(1) 入学生徒の増加策の推進・・・目標値・入学者60名以上

- ① 積極的な広報活動の展開を図る。
- ② 東理同組との連携を強め、入学生徒の増加を図る。
- ③ 新しくなった実習室等をアピールするなど学校の魅力を対外的に発信する。

(2) 「理容師資格取得促進事業」の継続的支援の推進

促進事業は理容業界にとって大きな意義のある事業であり、引き続き委託事業を行う。

(3) 就職活動のサポート

- ① 「就職セミナー」「E・toco セミナー」を引き続き開催する。
- ② 求人情報のデジタル化により生徒の就職をサポートする。
- ③ 働きながら学びたい生徒に対して、通店システムを活用するなど就職を全面的にバックアップする。

評価点 4…適切 3…ほぼ適切 2…やや適切 1…不適切

1 教育理念・目標

評価項目	評価点
学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
学校における職業教育その他の教育指導の特色は何か	4
社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	2
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・関係業界・保護者等に周知がされているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3
<p>現状と課題</p> <p>○平成29年1月に既存の教育方針・指導目標を見直し、新たに教育理念、教育目標及び教職員指導指針を策定した。</p> <p>○教育理念を踏まえ、地域福祉にも貢献できる“人にやさしい奉仕の精神”を尊ぶ理容師を育成することを大きな柱としている。</p> <p>○高学歴化に伴い、入学者数が逡減している現状を踏まえ、今後の学校の将来構想を検討していく必要がある。また、理容師・美容師養成に関する法改正への対応を至急検討する必要がある。</p> <p>○教育理念及び教育目標を校内に掲示するとともに、保護者会において保護者に周知していく。</p> <p>○理容組合の協力を得ることにより、高レベルの国家試験合格率を維持しており、業界のニーズに対応した人材育成を行っている。。</p>	
<p>今後の改善の方策</p> <p>○入学生徒数の減少化及び制度改正への対応等、学校の今後のあり方について検討していく。</p>	

評価点 4…適切 3…ほぼ適切 2…やや適切 1…不適切

2 学校運営

評価項目	評価点
目標等に沿った運営方針が策定されているか	3
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
人事、給与に関する規程等は整備されているか	3
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	2
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3
<p>現状と課題</p> <p>○年度目標、事業計画は策定されており、理事会の承認を得ている。</p> <p>○処務規程、就業規則、給与規程など必要な規定は整備されているが、策定からかなりの年数が経過したものがあり、有効に機能していない条文も見受けられる。</p> <p>○情報システムの活用により、情報提供や業務の効率化を図っている。</p>	
<p>今後の改善の方策</p> <p>○各種規程類を点検し、現状に馴染まなくなっている内容があるか順次チェックを行い、改正が必要な規定は改正を行っていく。</p>	

評価点 4…適切 3…ほぼ適切 2…やや適切 1…不適切

3 教育活動

評価項目	評価点
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
キャリア教育・実践的な職業教育の視点にたったカリキュラムや教育方法の工夫・見直し等が行われているか	3
関連分野の企業・関連施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	2
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	3
職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	2
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
関連分野における業界等との連携において優秀な教員を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2
職員の能力開発のための研修が行われているか	2
<p>現状と課題</p> <p>○理容技術の習得のみならず、福祉施設における実習を行うなど、社会福祉への理解を深める教育を実施している。</p> <p>○前後期制による実技・筆記試験を実施し評価を行っている。なお、成績が基準に満たない生徒に対しては、補講・追試で対応を行っている。</p> <p>○職員の研修受講の機会が少ない。</p>	
<p>今後の改善の方策</p> <p>○外部評価制度の導入等、実効性のある第三者評価について検討していく。</p> <p>○教職員の指導力向上に向けた外部研修を積極的に取り入れるなど、能力開発に向けた取組を検討していく。</p>	

評価点 4…適切 3…ほぼ適切 2…やや適切 1…不適切

4 学修成果

評価項目	評価点
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	2
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の活動教育の改善に活用されているか	3
現状と課題 ○就職セミナー及びウェブ媒体を活用した就職情報提供により就職率は100パーセントであった。 ○卒業生の活躍については、直接把握する体制にはなっていないが、同窓会を通じて情報が入ってくる。	
今後の改善の方策 ○学校が組合立である利点を十分に活用して、組合と連携して組合員店への就職を促進していく。 ○同窓会・後援会総会開催時に教員も出席し、各役員との連携により、卒業後の活躍や課題について把握していく。	

評価点 4…適切 3…ほぼ適切 2…やや適切 1…不適切

5 生徒支援

評価項目	評価点
生徒に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
生徒の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
生徒の生活環境への支援は行われているか	2
保護者と適切に連携しているか	2
卒業生への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2
専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2
<p>現状と課題</p> <p>○紹介システム利用者に対し「祝い金」を出しているが、その他学校独自の支援体制はない為、公的な奨学金の利用を勧めている。また、申出により分納・延納制度で支援を行うなど、柔軟に対応している。</p> <p>○ 毎年5月に全生徒のレントゲン検査及び健康診断を行い生徒の健康状態を管理している。また、各担当からの直接指導及び注意喚起で体調の管理を行っている。</p> <p>○保護者とは年1回の保護者会のほか、学期ごとに保護者あて成績・担任所見等を通知している。また、必要に応じ保護者面談・三者面談等を実施している。</p> <p>○効率的な卒業生の現状把握は難しいが、同窓会役員を通じての把握し情報を得よう努力している。また、再就職先の紹介に対してはできる限りの協力体制を整え希望にかなうよう努力をしている。</p>	
<p>今後の改善の方策</p> <p>○現状の財政状況を鑑みると経済的な支援は困難であるが、生活困窮者(生活保護世帯等)に対する奨学金制度等の入学支援体制を検討していく必要がある。</p> <p>○保護者が来校する行事の際に、面談を希望する保護者との面談の機会を設けるなど保護者との綿密な連携を図っていく。</p>	

評価点 4…適切 3…ほぼ適切 2…やや適切 1…不適切

6 教育環境

評価項目	評価点
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3
学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災に対する体制は整備されているか	3
<p>現状と課題</p> <p>○耐震改修工事を実施した。施設・設備・機器類は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている。</p> <p>○学内外の実習の実施により、より実践的な技術習得の機会は十分に整備されている。インターンシップについては生徒の自主性を重んじ、受入れ先との連絡を密に取り実施している。</p> <p>○避難訓練は毎年1回(年度始め)行い、同時に防災への意識付けを行っている。また、庁舎には然るべき警備システムを導入し防犯対策を講じている。ただし、合同庁舎全体訓練を行っていない為、避難の際の混迷が実際に予知出来ない。また、備蓄品については金額・保管場所の確保が難しいため必要量が不足している。</p>	
<p>今後の改善の方策</p> <p>○施設・設備・機器類は規則に則り整備されているが、より高度な技術等を身に付けさせるための備品等の設備整備を検討していく。</p> <p>○防災などの危機管理体制をさらに充実させるために合同庁舎内での話し合いの場の設定について大原学園等と協議していく。</p>	

評価点 4…適切 3…ほぼ適切 2…やや適切 1…不適切

7 生徒の受入れ募集

評価項目	評価点
高等学校等接続する機関に対して情報提供等の取組が行われているか	2
生徒募集活動は、適正に行われているか	3
生徒募集活動において、資格取得・進学又は就職状況等の情報は正確に伝えられているか	3
<p>現状と課題</p> <p>○生徒募集活動においては、オープンキャンパスの回数を増加するなど工夫をし、在校生主導でアピールしている。また、学校訪問・役所への訪問等を積極的に行い本学に対する認知度を高める努力をしている。なお、オープンキャンパスの実施に当たっては、時期・時間により内容を変え、技術体験・公開授業によって、より学校を実感できるよう工夫をしている。</p> <p>○出願時期の設定等、募集要項については適正に行っている。</p> <p>○入学試験選考の基準についても明確に定められている。「生徒募集要項」・「学校案内パンフレット」・「学校HP」等に詳細に記載し、取得できる資格・就職の状況も分かりやすく情報の提供を行っている。</p>	
<p>今後の改善の方策</p> <p>○毎年試行錯誤の上オープンキャンパスの日程を工夫・決定しているが、進学についての決定時期が早まる現状を敏感に察知し、より時代にあわせた募集活動について検討していく。</p> <p>○進学対象者のニーズにあわせた「生徒募集要項」・「学校案内パンフレット」・「学校HP」を多方面の意見を取り入れ改定・作成する。</p>	

評価点 4…適切 3…ほぼ適切 2…やや適切 1…不適切

8 財務

評価項目	評価点
中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか	2
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2
財務について会計監査が適正に行われているか	3
財務情報公開の体制整備はできているか	3
<p>現状と課題</p> <p>○学校財政の基盤である生徒数確保が非常に難しい状況下であり、財政基盤は脆弱な状況にある。また、生徒確保の為、広報活動を積極的に展開しているが、より効果のある広報活動を勧めていくことが課題となっている。</p> <p>○決算にあたっては顧問税理士による指導、監査役による適切かつ適正に会計監査を実施しており、予算・決算について学校理事会・組合理事会・東京都関係部署に報告を行っている。</p>	
<p>今後の改善の方策</p> <p>○学校訪問、オープンキャンパス等の広報活動を強化して、生徒数の確保に努めていく。</p> <p>○適正な予算執行管理を行うことにより、財政健全化への取組を進める。</p>	

評価点 4…適切 3…ほぼ適切 2…やや適切 1…不適切

9 法令等の遵守

評価項目	評価点
法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営が行われているか	3
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	2
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
自己評価結果を公開しているか	4
現状と課題 ○関係法令・専修学校設置基準等を遵守し適正に運営を行っている。 ○個人情報保護についての取り扱いは厳重に行っているが、規定の整備が十分でない。 ○平成27年度自己評価結果をホームページにて公開している。	
今後の改善の方策 ○27・28年度の自己評価を踏まえ、改善のための取組を計画的に実施していく。 ○個人情報保護法が改正され、厳格な情報保護が求められるため、個人情報保護のガイドライン・規程を策定する必要がある(平成29年5月までに策定予定)。	

評価点 4…適切 3…ほぼ適切 2…やや適切 1…不適切

10 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価点
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	2
地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	1
<p>現状と課題</p> <p>○校内実習のみではなく、校外実習を社会福祉施設の入所者に対して実施している。</p> <p>○平成28年度後期から校外実習施設が一か所増加した。</p> <p>○生徒は放課後の練習及びアルバイトを行っている者が多いためボランティア活動は制限されるが、千代田区奨励の「一斉清掃」に参加している。</p>	
<p>今後の改善の方策</p> <p>○校外実習場所の増加に向け、社会福祉施設に働きかけを行っていく。</p>	